



*Over flow Box*  
共通説明書

・ OB 30L      ・ OB 60L

Ver. 1.02

*LSS Laboratory*

## INDEX

1. はじめに	1
2. 特別な注意事項	1
3. 使用可能流量	1
4. パッケージ内容と各部の名称	2
5. 組立て	2
6. 配管	3
7. 始動方法	6
8. メンテナンスと注意	6
9. 使用上の注意と保証	6
10. Reef Octopus シリーズ	7

## 1.はじめに

Reef OctopusシリーズはLSS Laboratoryが自信を持って販売する海水魚飼育器具のブランドです。

Reef Octopusシリーズの開発はLSSだけでなく熱狂的な愛好家や専門店の意見、世界に広がるLSSのネットワークによってすすめられ、企画製造されました。

長期にわたりお客様にご使用いただくため、アクリルの材質や接着にもこだわり製作されています。水漏れなどのトラブルを避けるために水漏れテストやクラックなどの確認検査等も実施しています。

## 2.特別な注意事項

オーバーフローボックスは設置方法や使用方法によっては水槽機器やその他の周辺の器物に損害を与えてしまう場合があります。説明書を読んでも不明な点がある場合はユーザーサポート又は販売店に気軽に相談してください。

## 3.使用可能流量

本製品には万一のトラブルを防止するために1本の落下パイプにかかる負担を少なくするために下記の数値以上の流量が流れないように注意してください。

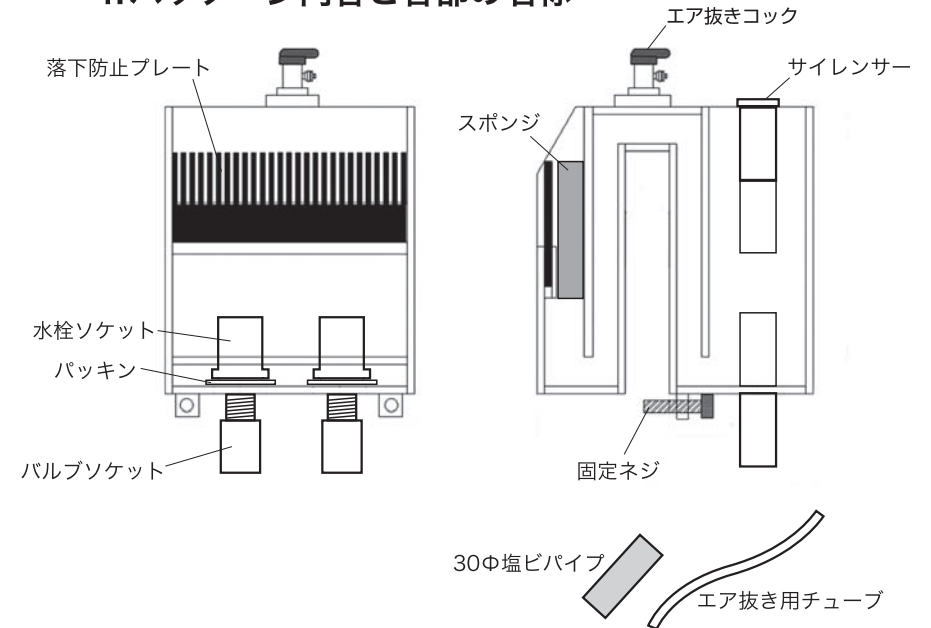
使用落下パイプ	最大循環量
1本	1500 ℓ/h
2本	2500 ℓ/h

※800 ℓ/h 以下の場合でも落下パイプは2本使用します。

※設置環境により最大循環量は異なりますので、設置後水位が上昇してしまう場合はポンプの流量を調整して下さい。

※配管方法により、最大循環量は異なります。

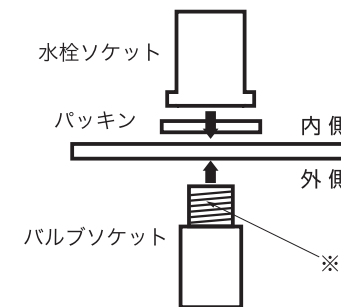
## 4.パッケージ内容と各部の名称



## 5.組立て

4章の図を参考に組立てを行なってください。

特に下記の水栓ソケットとバルブソケット、パッキンの取付けには十分注意して作業を行なってください。

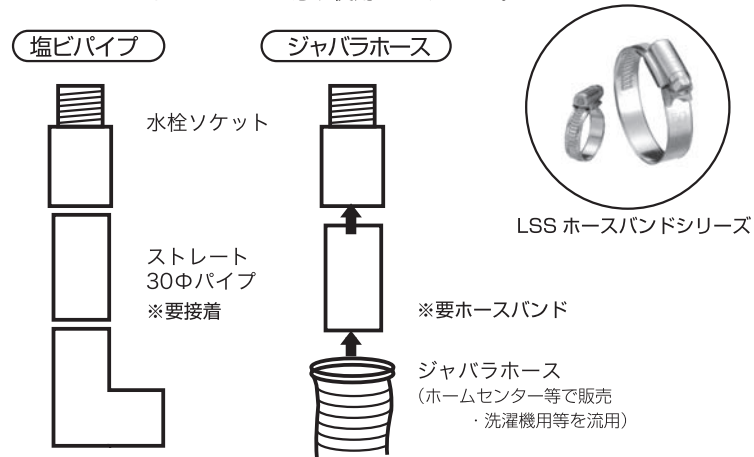


パッキンは本体内側に設置してください。  
必要以上に強くネジ込むと本体が割れてしまう場合があります。  
またパッキンだけでは水もれが心配な場合は市販のシリコン/シールテープ等も併用してください。

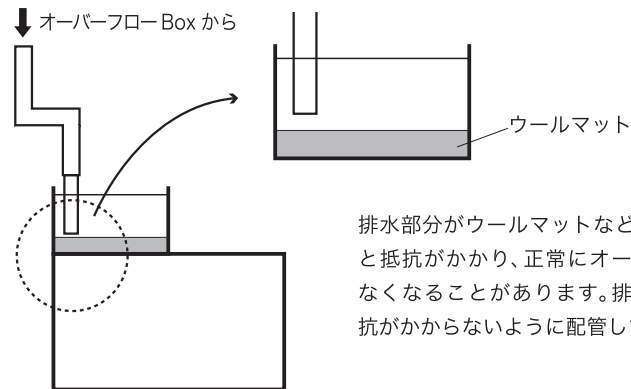
## 6. 配管

### 配管①ー基本の配管

塩ビパイプでの配管とジャバラホースを使用した配管の2種類から選択できます。  
配管の際は水栓ソケットとストレートパイプは接着剤を使用。ジャバラホースとストレートパイプにはホースバンドを必ず使用してください。

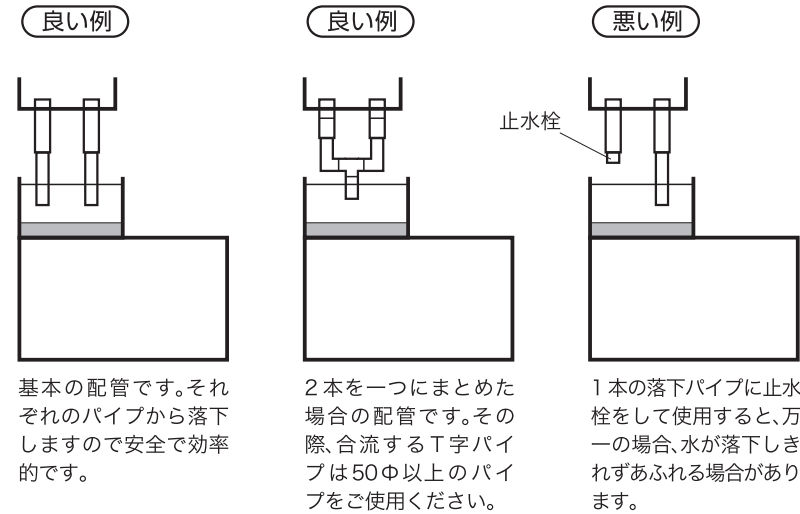


### 配管②ーフィルターへの排水部分の配管

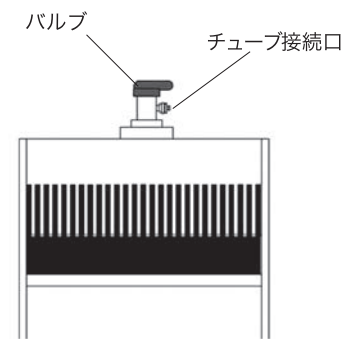


排水部分がウールマットなどに触れていると抵抗がかかり、正常にオーバーフローしなくなることがあります。排水パイプに抵抗がかからないように配管してください。

### 配管③ーフィルターまでの配管



### 配管④ー空気抜きチューブの接続



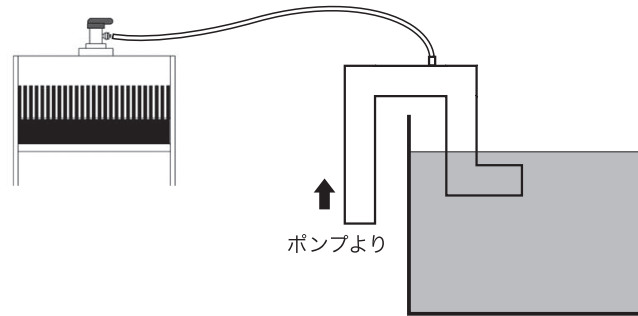
オーバーフロー Boxに溜まった空気は定期的に除去しなければなりません。空気が溜まりすぎると水が落下しないことや、停電再開時に復帰しない場合があります。3種類の方法から選択できます。

#### (1) 手動による除去

必要に応じてバルブを開けてチューブを使用し、Box内の空気を吸い込む除去します。(水が口に入った場合は必ずうがいなどをしてください)。水を飲まないように注意して作業してください。

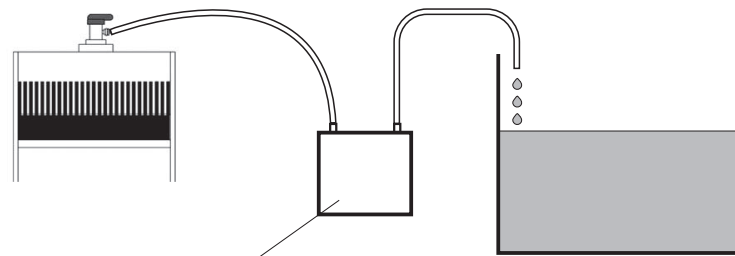
## (2) 排水パイプに接続

排水パイプ(お客様別途用意)に下図のようにチューブを接続し、常にオーバーフロー Box のバルブを開けておくことで空気がたまらないようにすることができます。(排水パイプに関しては販売店に相談してください)。



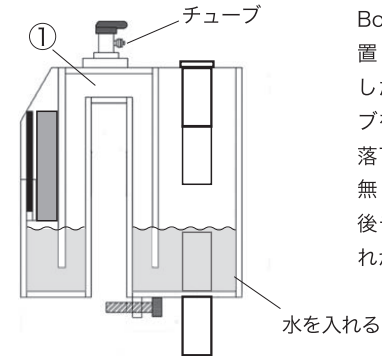
## (3) 空気抜き専用ポンプの使用(推奨)

専用ポンプと連動させると24時間ポンプがBox内にたまった空気を除去します。また水も同時に吸い出しますので、停電復帰後もトラブルがありません。



空気+水抜き専用ポンプ  
★カミハタ バキュームポンプ  
130×92×62mm  
定価 2,520 円(税込)

## 7. 始動方法



Box を水槽に固定ネジを使用して設置してください。すべての配管が終了したら図のように水を入れます。バルブを開き、チューブから吸い込みます。落下が始まって①の部分の空気が無くなるまで吸収してください。始動後チューブは前章の(1)~(3)のいずれかの配管を選び接続してください。

## 8. メンテナンスと注意

オーバーフロー Box で最も注意しなければならない項目が2点あります。

1. Box 内の空気抜き (6章で説明)
2. スポンジの定期的な掃除

2はエサなどのゴミが目詰まりを起こすと水槽内の水は落下しないために水槽から水があふれてしまいます。定期的に掃除及び交換してください。(掃除の頻度はお客様の飼育環境により異なります)

## 9. 使用上の注意と保証

説明書にある特別な注意事項を必ず守って使用してください。

アクリル製品は熱や光に弱いため水槽用のクーラー熱や直射日光による本体のクラック症状などが発生しない場所に設置してください。

本製品には6ヶ月メーカー保証がありますが下記は保証の対象外です。

- ・パッキンなどの消耗部分
- ・使用経過による商品の破損
- ・本製品の故障による生体の死亡及びその他の被害
- ・本製品の故障、破損による本製品以外の保証(水漏れ含む)
- ・保証書がない場合
- ・保証書に購入日/購入ショップの印等がない場合
- ・人から譲り受けた場合

## 10.Reef Octopus シリーズ

プロテインスキマー



IS シリーズ

カルシウムリアクター



CRシリーズ



CRシリーズ

ナイトレートリアクター



NR シリーズ

2ndリアクター



SR シリーズ

フォス&メディアリアクター



PM シリーズ

オーバーフロー Box



ウォーター Box



新商品が  
続々  
発売  
予定  
です。  
[www.e-lss.jp](http://www.e-lss.jp)  
にて  
最新  
情報  
を  
チェ  
ック  
でき  
ます。

# REEF OCTOPUS™

LSS Laboratory

ユーザーサポート  
042-788-2390